

第69回 尾瀬ハイキング

第6支部墨田会 (株) ケミカル
常務理事 石井洋介
平成26年10月12日～13日

10月11日(土曜日)・12日(日曜日)・13日(月曜日・祭日)の3日間、尾瀬ハイキングが7年振りに開催されました。

今回は、第一支部の森山孝治氏(75才)の尾瀬ハイキングなら参加したいとの強い要望があり、実現の運びとなりました。

10月11日(土曜日)東武浅草駅11時30分集合し、東武夜行特急11時55分発の会津高原駅行に参加予定者10名全員、スーパー台風19号の動きが気になる中で、無事目的地に向かうことが出来ました。

夜行特急は、ある程度の時間が経過すると、車内放送があり睡眠の妨げにならないよう消灯の時間ですとのアナウンスがあり、仕方なくお酒を諦めた参加者がほとんどでした。

10月12日(日曜日)の夜明け前、会津高原駅に到着しましたが、まだ暗く吐く息が白くなるのにはびっくりし東京とはこんなにも温度差があるのかと、又、若い人達が多いのにも大変驚きました。

尾瀬の大自然を愛する老若男女の人達がこんなにも多く、又、ハイキング同好会のメンバーも、何回も尾瀬に来ているとのことを聞き、納得させられました。

会津高原駅を後にし、一路沼山峠を目指し出発、そしてバスの車中にて夜が明け、何とお天気は快晴、そして約2時間余りで沼山峠休憩所に到着しました。

浅草の 夜行特急の同好会 寝心地悪しと車内は宴会
悠々と バスに揺られてご来光 沼山峠の登山口にぎやか

沼山峠休憩所で体調を整え準備万端、尾瀬沼を目指しました。約1時間で尾瀬沼休憩所に到着。朝食を摂った後、乾氏と別れて出発です。私たち9人は、沼尻で小休止後、白砂乗越を通り、下田代の十字路に10時頃到着、一時間ほどビールやウィスキー、紅茶をいただいた後、二班に分かれ出発です。

私達7人は温泉小屋を通り、三条の滝(12時50分着)を見学し、尾瀬ヶ原、ヨッピー吊り橋を渡り、そして山ノ鼻の尾瀬ロッジに到着(15時50分)しました。

ベテラン組3人(森山氏、山本氏、若林氏)は、竜宮十字路を通り、山ノ鼻の尾瀬ロッジに向かいました。

私達7人は、別動の乾氏とベテラン組に出迎えていただき、全員無事に宿舎

で合流し、楽しい夕食を、お酒とともに過ごすことが出来ました。

別れても 尾瀬の湿原差別無し 感謝感激心頼もし
尾瀬沼の 遊歩道の同好会 目指すは宿のお酒こいしや
三条の 滝の流れの雄大さ 汗を忘れし唯々感激
竜宮を 遠くに眺め尾瀬ヶ原 思いでひとしお涙こらえる
尾瀬ロッジ 二部屋分かればいざ睡眠 いびきの音色に翌朝大変

10月13日(月曜日・祭日)最終日、早朝6時30分、私達6人のメンバーは元気一杯日本百名山の至仏山(:標高2,228m)に向かいました。頂上から雄大な尾瀬湿原を眺めると、途中、雨あられの悪天候も忘れてしまう程、本当に尾瀬に参加して良かったとのすばらしい思いで一杯です。

ベテラン組と同好会初参加大河原氏4人のメンバーは、宿舎から直接鳩待峠を經由して尾瀬戸倉の温泉施設で、私達を迎えて戴きました。私達は到着後、山菜そばと生ビールで昼食をし、至仏山での疲れを温泉で癒すことが出来ました。残念なことに紅一点の原夫人が、尾瀬戸倉において新宿行き的高速バスに急遽乗り直接帰宅となりました。

そしてJR沼田駅からJR高崎駅で新幹線に乗り換え、上野駅に定刻(17時6分)通り到着し、駅の新レストラン街の常寿司で、無事故の打ち上げを行い無事解散となりました。

至仏山 唯ひたすらに息を吐く 尾瀬の湿原我ら讃える
尾瀬湿原 悠々楽々先発隊 笑顔で迎えお疲れさん
上野駅 打ち上げ楽しむ同好会 台風接近忘れ忘れて

追伸 今回の尾瀬ハイキングの報告文は、文章の途中に短歌を入れさせて戴きました。

参加者ハイキング同好会幹事 磯部氏、若林氏、大井(泰)氏、元幹事乾氏
会員 森山(孝)氏、原(夫人)氏、石井(洋)、初参加・大河原氏
事務局長前田氏、元事務局長山本氏 以上10名